

自主公開研究会

- Point 1 自分の考えや思いを進んで伝え合う子どもの育成
- Point 2 笑顔あふれる英語・英語活動の授業や英語の日常化

【研究主題】

自分の考えや思いを進んで伝え合う子どもの育成
 ~笑顔あふれる英語・英語活動の授業づくりと英語の日常化を通して~

【英語の日常化に向けた取組】

- 校内に英語をちりばめる(視覚化)、英語の日常化100文の活用
- 行事の取組(スピーチ、交流、英語の放送、プレゼンテーションコンテストなど)
- 集会活動の取組(English Time、ハッピータイム[人間関係づくりプログラム])
- 英語検定の取組(英検Jr. 英検5級の受験、英検ESGの活用)

2月2日(月) 公開 English Timeの様子

☆1年生から6年生まで、全校児童での授業(全校集会形式)

☆子どもが興味、関心をもち、コミュニケーションの楽しさを実感できる活動
 ☆コミュニケーションを行う目的、場面、状況を明確に設定



I have my lunch.
 Yay! Yay! B-E-A-N-S, beans
 1,2,3,4,5 Let's make group of 5!

What food do you like?
 I like peaches.
 Oh, I see.
 I like beef. Oh, nice!

What do you want?
 I want onions.
 How many? 2 please.
 Here you are.
 Thank you.

活動①・・・Let's Go to Honjo Mountain!
 *児童が提案した活動で、「猛獣狩りに行こうよ」
 を新田小英語バージョンにアレンジしたもの

活動②・・・マッチングゲーム
 *“What food do you like?”を使った
 尋ね合いで、同じ絵カードを持つ相手を探
 してペアをつくる活動

活動③・・・買い物ゲーム
 *レシピを完成させることを目的に、店員と客
 の役割になりきってやりとりを行っている。

☆成果と課題(授業者より)

【成果】 全校でイングリッシュタイムを実施したことで、英語を通して児童が学年を越えて
 かかわる機会が増えた。高学年が低学年に教える姿も見られ、自然な学びあいが生まれ
 た。また、全校で取り組むことで多くの相手とやり取りする場を確保し、発話の回数を増や
 すことができた。これまでの練習の成果も見られ、「友だちとたくさん会話をしよう」という
 めあての達成にもつながり、児童からも充実したふりかえりが得られた。

【課題】 日頃は各学年で発達段階に応じた指導を行っているが、全校で活動する場合は、
 1年生から6年生までが共に取り組める活動のめあてや言語材料を設定する難しさがある。
 今回の活動では児童が意欲的に参加する姿が見られたが、今後も継続して取り組むため
 には、学年差を踏まえながら、全ての児童が楽しみながら参加できる活動内容を工夫して
 いく必要がある。

【子どもたちの声】「ふりかえり」より

- 会話ができたので、「成長したなあ」と思った。(3年生)
- お店でたくさん会話をすることができたので、「たくさんやりとり
 をする」というめあては達成できた。(4年生)
- 会話で少しつまるところがあったけど、最後まで言えたので
 よかった。1、2年生に教えることもできた。(5年生)
- マッチングゲームでは、なかなかそろわなかったから、たくさん
 英語を使った。だから「たくさんやりとりをする」というめあて
 は達成できた。(6年生)

→ 子どもと目標を共有し、つけたい力が確実に
 身につく活動ができている。